



■ 奇跡の勝利とは呼ばない

「史上最大の番狂わせ」ラグビーW杯で日本が南アフリカ共和国に勝った翌日、多くの国の新聞にこう書かれたそうです。

これまでW杯で、わずか1勝（21敗）しかできていない日本に対して、南アフリカ共和国は、優勝2回、通算25勝（4敗）の戦績。確かに、日本が南アフリカ共和国を破るとは、誰も予想していなかったと思います。

しかし、福岡市出身で、この試合24得点を挙げた五郎丸歩選手は「勝利は必然。ラグビーに奇跡なんてない」と言い切りました。

この言葉通り、日本はこの4年間、強化合宿等では、朝5時から練習をスタートさせ、朝・昼・夜の3部練習をおこなうなど、世界一ハードな練習をおこなってきました。

ラグビー日本代表が「世界一」の猛練習を積み、金星をつかみ取ったことは、「目標を高く持ち、その目標にむかって努力すれば、夢は現実になる」ということを私たちに教えてくれています。

また、五郎丸選手は、『仲間が危ない時には自分がサポートに駆けつける。そして、サポートされた人は、今度は以前にサポートしてくれた仲間をまたサポートする』というラグビーの考え方は、社会や学校でも必ず活かされるはず」と言っています。



■ 朝のあいさつ運動

児童会のプランニング委員会の提案で、子どもたちが朝のあいさつ運動をはじめました。

「最近、あいさつができなくなっているのでは?」と、時々、保護者や地域の人から言われていましたが、『あいさつができる学校にしたい』と、子どもたちが自分たちで考え、あいさつ運動を計画・実施しています。

毎日昇降口で「おはようございます!」と児童の大きな声がひびき、元気で気もちのよい、1日がスタートしています。低学年の子どもたちは、毎朝、高学年のお兄ちゃん・お姉ちゃんから「おはよう」と、声をかけてもらい、とてもうれしそうです。

このような、子どもたちの自発的な活動は、大切にしていきたいと思っています。



児童による「あいさつ運動」

■ 読書集会

さわやかな秋風が吹きはじめ、読書にふさわしい季節になってきました。10月は読書月間です。

私は、読書を1つの自分探しだと考えています。

人生は1度きりですが、本を読むことによって、他のいろいろな生き方や考え方を学ぶことができるからです。

しかし、現状では、テレビ、ビデオ、インターネット等、生活環境の変化により、子どもの「読書離れ」が指摘されています。

本校では、昼休みに図書館で本を読む児童が多く、図書時間を楽しみにしている児童も多いようです。

また、ボランティアサークル「エルル」の皆様や保護者・先生方による読み聞かせが定期的に行われており、子どもたちが読書に親しむ環境は、比較的整備されています。

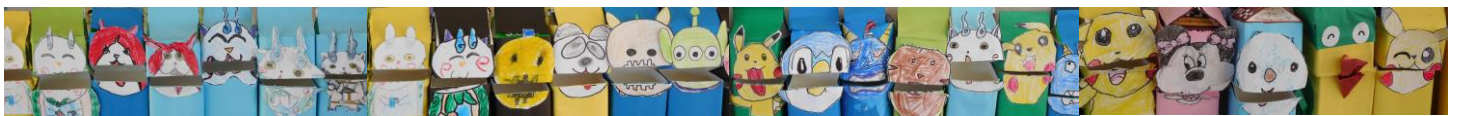
読書月間では、「読み聞かせ」「読書集会」「読書の木作成」等をおこなっています。また、11月は読書リレーをおこなう予定です。

このような取り組みが、子どもたちにとって、たくさんの本と出会う切っ掛けになってくれればと願っています。

ご家庭でも、おうちの方が子どもの頃に読まれた本や、今、興味のある本など、お子さんと語り合ってみてはいかがでしょうか。



読書集会 劇「えんまのはいしゃ」



《当面のスケジュール》

- | | | |
|-----------|--------|--------------------------|
| 10月22日（木） | 23日（金） | 6年生 修学旅行 |
| 10月23日（金） | | 職員研修（児童下校は12:10を予定しています） |
| 10月24日（土） | 25日（日） | 筑前町文化まつり（25日、本校音楽クラブ出演） |
| 10月31日（土） | | 土曜授業 【学習発表会】 |